和歌山縣民の友

發行所 和歌山市小松原通 和歌山縣廳秘書課
編集兼發行人 森慶三
印刷所 和歌山縣印刷所
定價㊎1部2圓50錢

特集（附錄）

愛林綠化運動

植えて育てよ父祖の山

春季愛林綠化運動展開

全縣下に多彩な行事を展開

紀州木の國綠でかざる

平和日本を表象する二十五年春季愛林綠化運動は三月一日から四月十日まで縣下一齊に展開される。

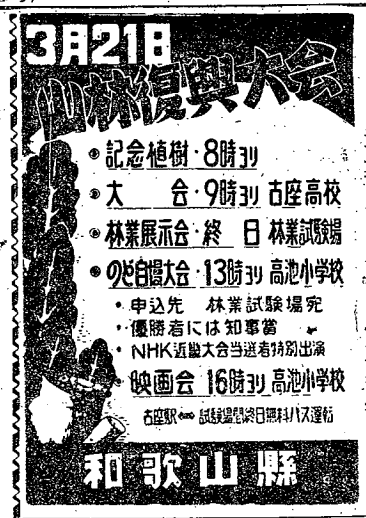
この期間中には本運動目的達成のため啓蒙宣傳及記念事業を左のプランにより實施する。

啓蒙宣傳事業

（A）ポスター、リーフレットの配布
（B）映畫、幻燈の映寫
紙芝居の巡回、
（C）字幕の懸垂
（D）新聞其他刊行物の頒布利用
（E）ラジオ放送及エコによる巡回放聲
（F）のど自慢大會開催
（G）青年辯論會及學童の作文募集
（H）座談會の開催
（I）林業關係展示會の開催

記念事業

（A）山林復興大會開催
（B）學校植林の實施
（C）各種記念植樹實施
（D）林道の修理
（E）林業關係功勞者の表彰
（F）有田郡南廣村大字西廣の一反歩に黑松千二百本、日高郡切目村大字西ノ地の二反歩に黑松二千四百本、東牟婁郡下里町大字下里の五反歩に黑松六千本を防潮林として補植



三萬町歩の裸山を

一日も早く綠化しよう

雨が降れば水害になり、雨が止めば農業用の水にも不足し電力が弱くなるのは、ここ三四年來甚しくなりました。わが和歌山縣は縣土面積四七萬町歩の中八割の三六萬町歩が森林原野で昔は山が繁つて風景も佳く、夏冬の別なく川には奇麗な水が流れて水害もそう度々はありませんでした。それが戰爭中と戰爭後の木材、薪炭の需要の甚しかつたため山は忽ち裸になりました。

木の國紀州とうたわれた和歌山縣はいつか赤禿山の國となると同時にいろ〳〵惡い事が起つて參りました。山は木材や薪炭を生產する外に水源を養い洪水や山崩れを防止し、更に風景を添えて觀光事業が發達します。海岸の森林には魚類が近寄つて來て漁業が盛んになります。又工業も農業も森林の自然的水量の調節によつて榮え人も森林や樹木に養はれて健康を增進します。

これ等のためには何うしても縣下三萬町歩の裸山を一日も早く綠化しなくてわなりません。國全体も今日全じような狀態にありますので擧國植林に力を入れています。植樹には今が最適期です縣民のみなさん協力して山にも街にも木を植えましよう。

山に植える樹は杉や檜や、松や、油桐やはぜ等がふさわしく街に適した木はプラタナスやポプラやイチヨウやサクラ等です。

御宅の廻りには櫻や松や、楓や、梅や、桃や其他花や實のなる草木を植えましよう。

山に木を植える人々には縣から補助金が出されます。

造林五ケ年計畫

本年は人工林に重点

昭和二十二年度より向う六ケ年計畫を以て實施にかゝつた本縣の造林計畫は昭和二十七年度迄に人工植栽、人工播、天然下種補整を以て四〇、三六〇町歩の綠化を實施することになり昭和二十二年昭和二十三年度に五、二三五町歩余の造林を實施したが、昭和二十四年度以降國では造林五ケ年計畫を樹立して全國的に大々的な造林を實施することになつたので本縣に於ても亦國の計畫に呼應して昭和二十四年度乃至昭和二十八年度造林六ケ年計畫を樹立して三六、一二〇町歩の造林を實施することに林業振興對策委員會の議を經て決定した。

然るに昭和二十五年度の通常國會を前に兩議院も政府も五ケ年計畫事業の繰上げ實施を强調して全國の要造林地一四五萬町歩の綠化を急いでゐる。

本縣も亦昭和二十五年度計畫に於ては最も確實な人工造林に重点を置いて昭和二十六年度以降の事業の繰上實施に對する援助方を國に要望した。

昭和二十四年度以降造林五ケ年計畫は次の通りである。

年度	造林計畫面積	内譯 人工植栽	人工播種	天然下種補整
	町歩	町歩	町歩	町歩
昭和24年度	7.765	5.060	600	2.105
昭和25年度	8.265	5.560	600	2.105
昭和26年度	8.265	5.560	600	2.105
昭和27年度	8.265	5.560	600	2.115
昭和28年度	3.550	3.000	—	550
合計	36.120	24.740	2.400	8.980

時評

治山は治國のもと 木を植えましよう

森林の使命は頗る廣汎である。經濟面から見ても大は建築、土工電柱、鐵道枕木、車輛、杭木、造船より小は家具、玩具、包裝材に至るまで各種用材は勿論のこと薪炭原木として燃料の給源となり人は木材なくしては一日も生活することは出來ないのである。

國土保全の使命としては水源涵養、洪水防止、なだれ防止、飛砂防止、防風、防潮等各種の災害防止があり、海濱の森林は魚附林となり、都市近くの森林は氣溫の調節、空氣の淨化によつて衞生林ともなる。又水源涵養や洪水防止の機能によつて米作は豐に稔り發電は盛となり、工業用水の供給源となる。その他森林の防災機能と相まつて各種產業の勃興國民生活の安定が保證されるわけである。

風致の面から見ても森林の使命は頗る大なるものがある。

殊に世界に冠絶する我國の風景は山紫水明白砂青松等の言葉が示すように天下の絕景も森林なしでは考えられない風景であり、春は一目千本の山櫻より、新綠の初夏、紅葉の秋、さては寒林枯木樹永の冬山に至るまで皆樹木中心の景觀である。これらの風景は單に人の眼を樂しましてくれるだけではない。

平和、靜寂或は雄大壯麗な山の姿こそ人心の作興、超俗的、藝術の發育に神秘な感化を與えるであろう。

一國の文明は森林より生れ「治國のもとは治山にあり」と云われることもなるほどとうなづけられる所であり治山の根源こそ植林より初まるものである。

（林務課）

今年のバード・デー

いままでバード、デーは四月十日と定められていましたが、今年は五月十日から一週間バード、ウイークとしてその運動期間をのばして實施されます。

これは四月上旬が渡り鳥の關係で鳥も勘く、學童も新學期の始めで行事が多いためです。美しい「愛鳥カレンダー」が林野廳から配布される豫定です。

解說

アメリカのCCC

アメリカのC・C・CとはCivian Conservation Corps市民資源保存團の略である。これは一九二九年フランクリン、ルーズベルトのニュー・デイール政策の一環として當時の經濟恐慌に對する青少年の失業對策、犯罪防止のため、陸軍省が中心となり勞、農、內の三省の協力により植林を中心とする治山治水事業に青少年を參加させ、天然資源及び人的資源の保存に役立たせるとともに、キャンプ生活を通して一般的敎養と職業につく豫備敎育を與えようとしたものであり、その活動は

（一）、廿八萬七千エーカーの植林
（二）、九十四萬五千エーカーの害虫驅除
（三）、六千マイルの電話線架設
（四）、八千マイルの自動車道路の開設
（五）、五十六萬にのぼるダムの建設
（六）、四千近くの小屋
（七）、九百の貯水池完成
（八）、延八十萬人が山火事を防いだ
（九）、土地改良のため六百六十萬本の移植
（十）、二千五百マイルの防火線の設置

で以上のほか都會防近のG・C・Cは美しい防火林を作り都會人のピクニックの場所を興え、野球場やハイキングコースを作つたり避難所望樓の建設・解消させるとともに仕事の能率を高めさせたと言われる。

C・C・Cは第二次大戰が初められるまで參加者總數は二百七十萬人の多きにのぼり、これらの參加者はキャンプを終えて家に帰つてからもC・C・Cの生活が体得した勞働の尊び、苦難にあつても希望を失わない精神はコミュニテイを活氣づけ、團体生活で學んだ勇氣と卓越した技術で不況を克服して行つたと言われて居る。

（林野廳研究普及課）

山林復興大會

林業功勞表彰者

本縣林業の發展に功勞のあつた次の方々を顯彰してその德を讃え林業振興意欲の昂揚につとめる。

伊都郡高野町　西田　安松（六四）
有田郡五西月村　上岡定次郎（六四）
日高郡松原村　田端　春三（七三）
〃　下山路村　西川未三郎（五八）
〃　中山路村　小柳　宗一（四一）
〃　高城村　石山　雄一（四一）
西牟婁郡東富田村湯川圓次郎（五八）
〃　江住村　城　勘藏（六四）
〃　栗栖川村　塩見　好夫（三七）
東牟婁郡敷屋村　田中實佐男（四五）
〃　七川村　羽山　有三（三七）
那賀郡粉河町　八塚　良三（五八）
東牟婁郡三尾川村　根木　當治（三三）
伊都郡應其村　宿木炭增產班長東竹次郎以下十六名
伊都郡花園村　花園小學校
日高郡川中村　大星小學校

三月二十一日（春分の日）東牟婁郡古座町古座高等學校及び第二會場の林業試驗場（林業展示會）で夫々花々しく開催される。

當日は八時から一時間の豫定で林業試驗場用地に參加名士の記念植樹を行い終つて第一會場で大會に移り、大阪民事部長のメッセージを始め、知事挨拶、來賓祝辭などあり左記の通り林業功勞者、苗木品評會入賞者の表彰あつて休憩、午后は林業振興の意見及要望事項の發表、大會決議文の作成並に發表あり、引續いて佐藤博士の記念講演あつて二時半頃閉會する。

大會終了後山林關係の映畫會を始め、のど自慢大會、展覽會などが繰りひろげられる。

特産樹の増植により

全國有數の林産資源縣へ

わが國は今や國土が著しく縮少せられた結果限られた資源をもつて祖國の復興を官民一致協力して行わねばなりません。即ち國内のあらゆる資源をより有効に、且つ合理的に利用することが必要であり特に國土の六割余を占める山林の利用を昂めることこそ最も緊要事と云うべきでありまして從來のように用材や薪炭材の生産ばかりでなく特産樹（油桐、櫨、漆、棕櫚、椿、山茶花、栗、椿、三極、黒竹等の特用原料樹）の栽培増殖によつて林地の有効適切な多角的利用を圖り同時に原始的土地産業の域を脱し自然科學に立脚した集約化、企業化を促進することは今後の森林經營の進むべき道であり又農山村民の余剰勞力を利用し、經濟生活に彈力性を持たせるためにも特殊林産副業並びに加工業を取り入れることが肝要であります

幸にも本縣は氣候温暖であるばかりでなく山嶽重疊し地方的に氣候を異にしているため多種多様の特産樹の生育に適合する所が多いので投下資本の回收が早くしかも林地收益の多い樹藝林業の振興を圖り全國有數の資源縣に仕上げることは見返り輸出品の増産上又農山經濟不況打開策の上からも極て適切であり緊急事と認められます

本年度の諸計畫

これがため縣では和和二十四年度において樹藝林業振興五ケ年計畫を樹立し二千町歩を目標に特産樹の増殖を奬勵し目的完遂に努めている次第です。

次に昭和二十五年度において縣當局として計畫中の奬勵方策の一端を述べますと

一、植栽用苗木の確保

一、事業資金融通の旋斡

一、造林及び接木用穗木講入補助金の交付（手續中）

一、林業試驗の强化

一、模範指導林の設定（手續中）

一、專門及び地區技術普及員の設置（未定）

一、栽培講習講話會の開催

一、ポスターパンフレット

等の配布等でありまして特産樹はその特異性に鑑みまして増殖奬勵上特に左の諸点に重点をおき指導をしております。

一、適他適木の選定を誤らぬこと。

二、優良品種を嚴選すること

三、生産費の輕減を極力圖ること

四、山地に限らず家敷廻りや畦畔堤等空間地利用のため植栽を奬めること

五、單一樹種に偏することなく且つ少くとも河川流域別に共同加工し得られる數量を目途に多量栽培を圖ること

六、經濟情勢の推移變動に支配されること特に著しいのでこれが推移の迅速正確なる把握に努めること

七、組合等による共同の出荷、加工並びに販賣を奬めること

以上簡單に特産樹増殖について縣施策の一端を述べ御參考に供します。

河の怒り・山の怒り

和らぐるは緑化あるのみ

水害をなくすために

土地の使用を誤り又は流域の管理を誤つたならば、貴重な資産を失ひ莫大な代償を支拂はれず、林野に無謀な開墾が行はれ、無立木地がふえ、地力は流亡して溪流の浸蝕が進み河川は原始的な姿を示して來ている。

植生の被覆を失つた山地の土壤悪化のため保水の能力を失つて多量の雨水を流し、土砂を押し流して水害の發端となることは貴重な粗先の体驗から治山治水の名言を以つて言い現わされている。食糧や木材の増産を要することは乏しき日本の現狀に於て當然のことであるが、得るための方法の誤によつて其の幾十、幾百倍の代償を國民が負担しなければならないならば、之は經濟復興のためにも由々しい問題である。本源を忘れ眼前の措置にのみ明け暮れているならば何日の日か日本の復舊建設はなるであらうか。林野の保全と育生の標を輕視したならば、其の流域一体に及ぼす自然の報復は余りにも恐るべきものとなつて現れる。水害は此の事を繰り返し、繰り返し教へている樣である、

水害を防ぐには先づ川を治めることであり川を治めるには山を治ることから始る。これは改めて云ふ迄もないことであろう。山を治めることは森林を立派にすることに歸する。

一、森林の保全

この日本の森林を今後どの樣に經營して行つたら、森林生産物の供給も續けられ同時に災害の頻發からも免れることができるであらう。森林所有者が勝手氣儘に伐採しては業林の保全などは全く期待出來ない。現在の森林から合理的生産を行い、同時に其の育成に最大の努力をするために施業案を編成し之を實行することである。

二、保安林

保安林というのは公益上の見地から使用收益制限を受けている森林である水源を養ふため土砂の流失を防ぐため或は風害、雪害、潮害を防ぐ等に大きな役目を持つている。この目的のために所要の森林に對して特殊な制限を加へるのである。

三、造林

森林を伐採した跡には造林をしなければ、森林の保全は望めないのである。戰時中生産增强のため伐採は急增する一方勞務の不足と一般情勢から造林は極度に減少し戰後引續いて復興のため伐採は引續き行はれ急激なインフレーションのため造林に對する一般の熱意が失ばれ裸山が增加し水害の原因となつたのである。

四、治山事業

現在山崩其他で荒廢し森林の育たない山地が全國で二十六万町歩程ある此の山肌の露出して、絶えず土砂を押流す山は災害の根源でありこれを放置しては絶えず災害の危險におびやかされなければならないのである。之を除去するためには之等の荒廢林地を再び森林に戻さなければならないのである、海岸に森林を育成して潮害、津浪の害を防ぎ或は水源地帶に森林を造成する等之等の事業を總稱して治山事業と言ふのである。

以上の四項により極め簡單に述べたが森林地帶は河を流れる水の給源である。その水によつて文化は養われているのである。水害とは河が怒るのであり又水源地帶の山の怒りでもある。緑の森林で覆われているべき山々が、赤裸にされたその時である。

山をいつも緑にしておかねばならぬ、そうすれば水害は我々から遠ざかつてゆくであらう。

降雨の度の洪水を植樹によつて無くしよう

萬葉の昔から明るい美しい南國紀州は歌や詩にうたわれてすがすがしい住みよい處でありました。紀州木の國の山野は緑につゝまれて水害も今日のようにひどいことはありませんでした。

然るに戰後の紀州は何うでしよう。降雨の度に洪水になり、尊い人命も財産も濁流と共に押し流されて一夜にして此の世は地獄と變り、跡には荒れた河原田圃と倒れた家と、そして罹災者の悲しい姿がさまようている。……これでは日本の再建も何もない!!水害は何故起る？上流を御覽下さい!!戰爭中から八ケ年木材と薪炭を採れる丈けとつた結果荒れ果て疲れ切つた山の姿です。洪水はあれから來るのです。

こんな狀態では産業も止まつてしまいます この禍源を除くには、山に樹を植ゑるより外によい方法はありません。そして樹を植え山が緑になれば、村も山も町も國も榮え、そこに我々の幸福があります。

樹を植えましようあの禿げた日本の山に、私達が國家再建に發足した日の記念の樹を!!樹を植えましよう、これは國民の愛國的な義務です。

炭焼き、焚火の不始末

山林火災の最大原因

森林の被害には火災風水害、雪霜害、虫害等があるがその中でも最も被害の著しいものは山林火災である。

最近五ケ年間の被害狀況統計により、山林火災の原因を大別すると失火、放火、戰火及び自然火に分類できるがその大部分は失火によるものである。

山林火災の原因を更に細別すると

1、火入の延燒

放牧採草地、生地の火入、田畑畦畔の火入、燒畑及び開墾の火入、造林地拵への火入、防火線、路線敷地の火入

2、炭燒きの失火

排煙の火焰、口焚の火焚、鉢（天井）の落下、白炭の窯外消下、作業用燈火、作業小屋の失火

3、焚火、煙草不始末

登山者、遊山者等狩獵者、山葉採取等一般通行人、林内作業者、農耕其の他の作業者

4、汽車からの飛火、炭殼の搔出、排煙

5、特殊原因

一般火災、飛行機の墜落、送電線の漏火、自動車其の他放火

6、怨恨、造林の忌避、罪跡湮滅、小兒狂人等の弄火、保險金詐取

7、戰火

燒夷彈、燒夷劑、爆彈、銃砲彈

8、自然火

落雷、噴火、樹木の摩擦となる。

山林火災は濕度、氣壓風力、等氣象と深い關係があり特に濕度の影響が大であつて早春は最も危險でこれについ で晩春、晩秋が危險期となつている。積雪地では融雪後の乾燥期が最も危險期である。氣壓の配置は特に大火災の發生に大なる關係があり、冬及び春の西に高く東に低い氣壓配置の時は主として太平洋側に春の南に高く北に低い氣壓配置の時は主として日本海側に大火の起る危險性がある。

又濕度五〇％以下になつては火災發生の危險があり四〇％以下になれば危險甚しく三〇％以下に下れば防禦極めて困難な火災を惹起するものである。

火災發生の危險な慮れのあるときは農山村都市と云わず凡ゆる人々は火災による物心兩面に及ぼす影響の甚大なることを自戒して火氣に充分注意し一朝發生を見たなれば早期に發見し迅速な出動と適切な消火により初期に鎭滅して資源の確保と國土の保全を期したい。

古座驛中心の汽車時間表

	新宮	勝浦	古座	田邊	御坊	東和歌山
下り	6.30→	7.03→	7.42	→ 9.55→	11.07→	12.49
	9.58→	10.29→	11.06	→13.28→	14.46→	16.25
	14.05→	14.37→	15.14	→17.30→	18.42→	20.24
	急 21.30→	22.02→	22.43	→ 1.20→	2.41→	4.31
上り	8.03←	7.33←	（串本始發）6.50			
	9.21←	8.51←	8.10	←（始發）6.00		
	13.55←	13.25←	12.44	←10.34	9.13←	7.33
	17.45←	17.16←	16.35	←14.24	←13.05	←11.27
	20.55←	20.25←	19.45	←17.35	←16.18	←14.20
	急 5.40←	5.10←	4.28	← 2.10←	0.40←	22.42

苗木品評會入賞者

優良な森林を仕立てる基礎としての優良な苗木の育成奬勵のため昭和二十四年度において各苗園毎に審査の結査次の育成者が入賞した。

等級	樹種	入賞者住所氏名
一等	スギ	有田郡南廣村
全	ヒノキ	那賀郡調月村、西岡政雄
全	マツ	海草郡巽村、井内實
二等	スギ	日高郡下山村、久保嚴
全	ヒノキ	有田郡五川村、松本國助
全	マツ	海草郡巽村、井内義清
三等	スギ	田邊市芳養町、田邊市芳養町、東牟婁郡西向町、中谷清一
全	ヒノキ	伊都郡九度山町、高野營林組合、中本一郎
全	マツ	伊都郡花園村、宮崎清次郎
全	スギ	東牟婁郡七川村、浦田寅之進
全	ヒノキ	伊都郡花園村、尼岡敬澤二
全	マツ	田邊市芳養町、中本正一
全	スギ	那賀郡東野上町、西村增一
全	ヒノキ	那賀郡調月村、宮本事業組合、清一
全	マツ	東牟婁郡西向町、福本喜一
全	スギ	日高郡有田村、柏木才一
全	ヒノキ	日高郡矢湯村、田端義一
全	マツ	伊都郡紀見村、尾鼻造久
全	スギ	田邊市芳養町、伊都郡花園村、大西龍之助
全	ヒノキ	田邊市芳養町、東牟婁郡七川村、奥田耕一